

## 熊本県中学校総合体育大会ソフトボール競技大会要項

- ◇ 主 催 熊本県中学校体育連盟 熊本県教育委員会
- ◇ 共 催 天草市教育委員会 上天草市教育委員会 苓北町教育委員会  
宇城市教育委員会 宇土市教育委員会 美里町教育委員会
- ◇ 期 日 令和元年7月27日(土)～28日(日)
- ◇ 場 所 美里町B&Gグラウンド 美里町カントリーパーク
- 1 競技名 ソフトボール
- 2 参加資格
  - (1) 県下中学校に在籍している生徒で、郡市代表と認められた単一校で編成されたチームであること。
  - (2) 引率責任者・監督は、当校の校長・教員とする。教員以外のコーチは校長が認めた者とする。
  - (3) 参加資格の特例を認める。(開催基準7(5)複数校合同チーム)
  - (4) 参加生徒及びチームの引率者、監督、部活動指導員、教員外指導者等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等(以下、暴力等)により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、教員外指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- 3 参加料 参加選手一人につき700円とする。参加申込後の返金はしない。
- 4 参加制限
  - (1) 各郡市代表1チームとする。但し、熊本市、球磨・人吉から2チーム、さらに開催地より1チーム追加出場を認める。
  - (2) チーム編成は、監督1名・コーチ1名・選手18名以内(スコアラーを含む)の計20名以内とする。
- 5 競技方法
  - (1) 形 式 トーナメント方式を採用する。(第3位決定戦は実施しない)
  - (2) 使用球及び用具
    - ①使用球は、ゴム検定球公認3号球とする。
    - ②バットは、検定公認3号バット(JSAマーク入り)とする。
    - ③打者・次打者・走者・ベースコーチはヘルメット(両耳用)を着用する。
    - ④キャッチャーはヘルメット、マスク(スロートガード付き)、プロテクター及びレガースを着用する。
    - ⑤球場内における準備投球の際、捕球者は必ずヘルメットとマスクを着用する。
    - ⑥金属性スパイク及びセラミック製スパイクは禁止する。
  - (3) 審判方法
    - ①ルールは、2019年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
    - ②審判員は、公認審判員に依頼する。
    - ③監督・コーチ・選手は同一同意匠のユニフォームを着用し、ユニフォームナンバーと胸番号(監督30番・コーチ31番・主将10番・選手1～25番なお背中にはユニフォームナンバー以外の個人名等はつけないこと)をつける。
    - ④ベンチには、校長・監督・コーチ・選手(18名以内)の立ち入りを許可する。
    - ⑤ベースコーチは、ベンチ入りの選手のみとする。
    - ⑥試合時間の制限はない。
    - ⑦7回終了時同点の場合は、8回よりタイブレーカーとする。
    - ⑧得点差によるコールドゲームは、3回15点差、4回10点差、5回以降7点差とし全試合に適用する。
    - ⑨サスペンデット制を採用する。(5回が終了すれば試合成立)
    - ⑩その他のことについては、代表者会で協議する。
- 6 その他
  - (1) 組み合わせ抽選では、熊本市、球磨・人吉及び開催地の代表は予備抽選により別パートに分ける。
  - (2) 本大会の上位2チームは、九州大会への出場資格を得る。
  - (3) 熊本県中体連では別紙個人情報保護方針に基づき、熊本県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。

## 申し合わせ事項

- 1 試合開始予定時刻の30分前に、あらかじめ配布された打順表（代表者会で配布）に必要事項を記入し、各球場本部まで5部つづりで提出する。この際、攻守順の決定を行う。
- 2 ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- 3 フィールディングは、後攻チームより5分間（終了予告は1分前）とし、登録された監督・コーチと選手で行うものとする。ただし、同一球場では1日に1回とし、運営上時間を短縮したり、省略したりすることもある。
- 4 メガホンは監督のみ使用できる。また、ペットボトルや太鼓での応援はしない。
- 5 登録選手の変更は、大会開催基準に基づき所定の様式にて行う。
- 6 代表者会に出席できるのは監督のみとする。（ただし、複数校合同チームにおいては、各学校の顧問なお、出席しない場合は原則として棄権とみなす。
- 7 雨天時等における日程の変更等については、大会実行委員会で決定する。  
（大会運営可能な日程で行うために、時間制限、イニングの制限、などを行う場合がある。）
- 8 ベンチ入りを認められた以外の者が、ベンチ外から指示を出したり、選手を集合させたりすることを禁止する。
- 9 相手チームや審判をやじるなど、教育の場にふさわしくない行為が発生した場合は大会実行委員会及び審判団で協議の上、該当者の退場や試合の没収もあり得る。
- 10 生徒指導上の問題（髪染め、眉そり等）のある選手は出場できない。ただし、指導中の選手については、代表者会にその旨を報告し、大会本部の承認を得なければならない。また、問題があり報告の無い選手及び大会時に問題が発覚した選手についてはその出場を認めない。
- 11 大会本部より特別に免除されたチーム以外で、総合開会式に不参加の選手やチームは失格とする。競技終了後の閉会式には優勝・準優勝チームが参加するものとする。
- 12 3位の表彰は、準決勝の終了後にそのコートで行う。その際、表彰チームは1・3塁線に横1列、勝者チームはベンチ前に横1列に整列する。
- 13 熱中症予防のため、4回・7回終了時に5分間の給水タイムを設ける。その際に監督、コーチなどはベンチを出て、その間選手が練習を行ったり、監督・コーチが選手を集合させて指示を行ったりしないこと。
- 14 代表者会で確認された事項は、チーム及び応援保護者等に徹底させること。
- 15 雷鳴が聞こえたら試合を中断し、必要に応じて避難をする。（待機がよい場合は待機）  
その他、光化学スモッグ等の対応については中体連緊急対応マニュアルに従って行動する。
- 16 監督・コーチでない教員がベンチに入る場合は、平服（ワイシャツ・ネクタイまたはポロシャツ）とする。ただし、女性の場合は考慮する。

- 17 登録選手以外及びチームの応援者は、応援席にいること。
- 18 試合中にベンチ内での写真・動画の撮影は行わない。
- 19 ゲーム中の控え選手の投球練習は、フェール地域で1組のみとし、捕手は必ずマスクを着用する。
- 20 保護者・応援者のビデオ撮影は、応援席からのみとする。